

③ 令和6年度学校評価【職員】集計結果

令和6年12月実施

評価基準 4:大変良い、よく当てはまる 3:良い、やや当てはまる 2:少し悪い、あまり当てはまらない 1:悪い、全く当てはまらない

No	今年度の重点目標	評価項目	(割合%)				好意的評価(%)		
			4	3	2	1	R6	R5	R4
ア	基礎基本の定着と主体的な学びを推進する	(1) 教職員は「いわての授業づくり3つの視点」を踏まえて、生徒にとってわかる授業、きめ細やかな授業を行っている。	41	56	3		97	97	97
		(2) 教職員は習熟度やTT、ICT機器の利用など、授業方法の工夫に努めている。	38	56	6		94	94	97
		(3) 教職員は互見授業、授業研究、研修などを積極的に行っている。	53	44	3		97	100	93
		(4) 教職員は家庭学習等が行われるような授業・学年の取組に努めている。	34	63	3		97	87	97
イ	キャリア教育の充実と生徒の進路希望の実現を図る	(5) 一人ひとりの進路希望を大切に全教職員による進路指導が行われている。	47	53			100	94	90
		(6) 外部機関と連携したキャリア教育の推進が行われている。	69	28	3		97	97	100
		(7) 教職員は検定や資格取得に積極的に取り組ませている。(1グレードアップ)	59	38	3		97	94	100
ウ	豊かな人間性と社会性を育成する	(8) 教職員は朝読書を通じて「心の教育」を推進している。	59	38	3		97	R6 新規項目	
		(9) 教職員は「困った人には手をさしのべようとする」ような意識を持った生徒の育成に努めている。	53	47			100	R6 新規項目	
		(10) 教職員は挨拶や身だしなみなど必要に応じて指導している。	66	25	9		91	97	97
		(11) 教職員は清掃や環境美化の取組がしっかりとなされるように指導している。	66	28	6		94	97	100
		(12) 学校は震災に備えるための講演会等の復興教育を継続している。	44	44	13		88	R6 新規項目	
		(13) 教職員は環境教育・エネルギー教育・国際理解教育等、持続可能な開発のための教育を意識して指導している。	22	66	13		88	84	80
エ	実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	(14) 教職員はスクールカウンセラーや特別支援員と連携しながら教育活動が組織的に行われるよう努めている。	75	25			100	100	100
		(15) 教職員は組織的にいじめ防止と早期発見に取り組んでいる。	75	25			100	97	100
		(16) 教職員は携帯電話等による人間関係トラブルの防止に努めている。(情報モラル教育に取り組んでいる)	47	50	3		97	97	100
		(17) 教職員は生徒の良いところを見つけ、良いところを伸ばそうと努めている。(生徒の自己肯定感を高めるように意識した指導を行っている)	56	44			100	100	100
		(18) 教職員は学校が生徒理解やふれあいの場となり、生徒にとって「居場所」となるよう意識して取り組んでいる。	63	38			100	R6 新規項目	
オ	地域活動に積極的に参加し地域に貢献する人材を育成する	(19) 学校は、復興支援ボランティア活動を継続している。	59	38	3		97	97	100
		(20) 教職員は、生徒が地域文化理解を進め、地域行事や地域ボランティア等へ積極的に参加するよう指導している。	31	59	9		91	91	93
		(21) 教職員は、生徒が将来地域を担う存在になることを意識して、「いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業」における探究活動を推進している	56	44			100	100	100
カ	その他(重点目標以外)部活動、学校の情報発信、信頼される学校づくり、保護者との連携等	(22) 教職員はコンプライアンスを意識した行動・言動を取っている。	50	50			100	R6 新規項目	
		(23) 学校はHPやnoteによる情報発信をよくしている。	41	56	3		97	R6 新規項目	
		(24) 教職員は指導する部活動への参加率が高く活発な活動となるように努めている。	72	25	3		97	100	100
		(25) 教職員は部活動の年度目標を提示し、目標達成に向けて指導を行っている。	38	50	13		88	97	97
		(26) 教職員は保護者や地域から信頼される学校となるよう意識している。	38	56	6		94	94	97
		(27) 教職員は、保護者が学校行事に積極的に参加できるように企画・改善を行っている。	56	44			100	100	100
※	働き方改革	(29) あなたは、在校等時間の縮減やICTの活用をはじめとした業務効率化で、働き方改革を進めている。	34	38	25	3	72	88	93
※	満足度	(28) あなたはこの学校での勤務に満足している。	44	53	3		97	94	93